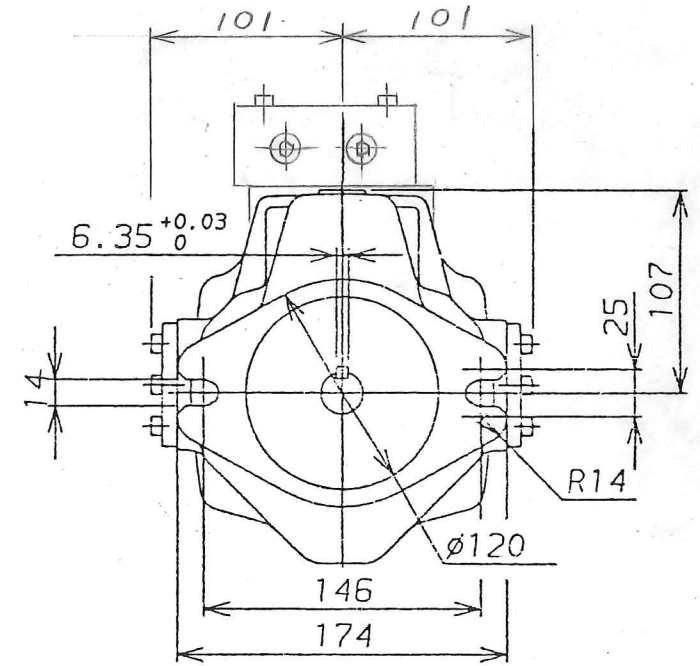
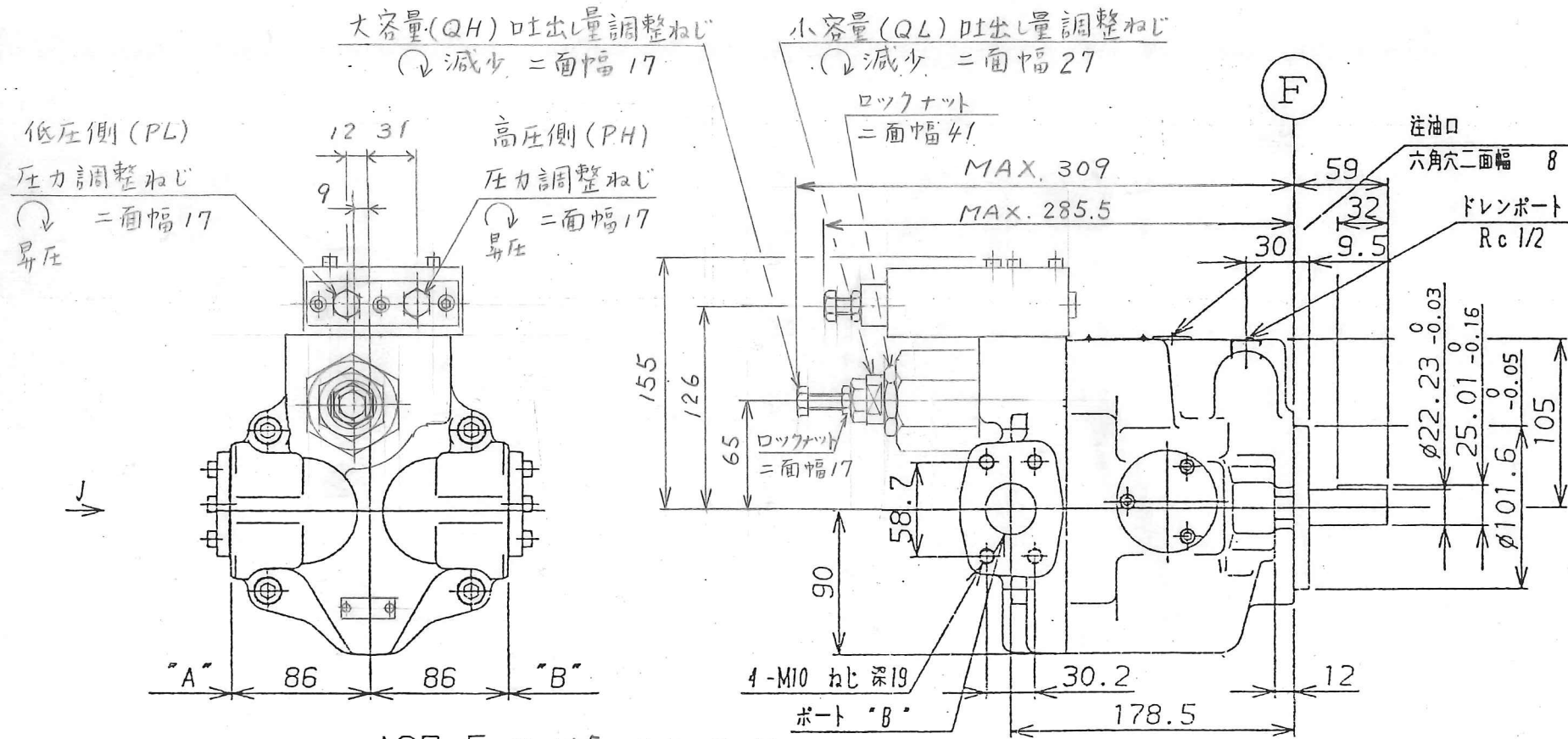
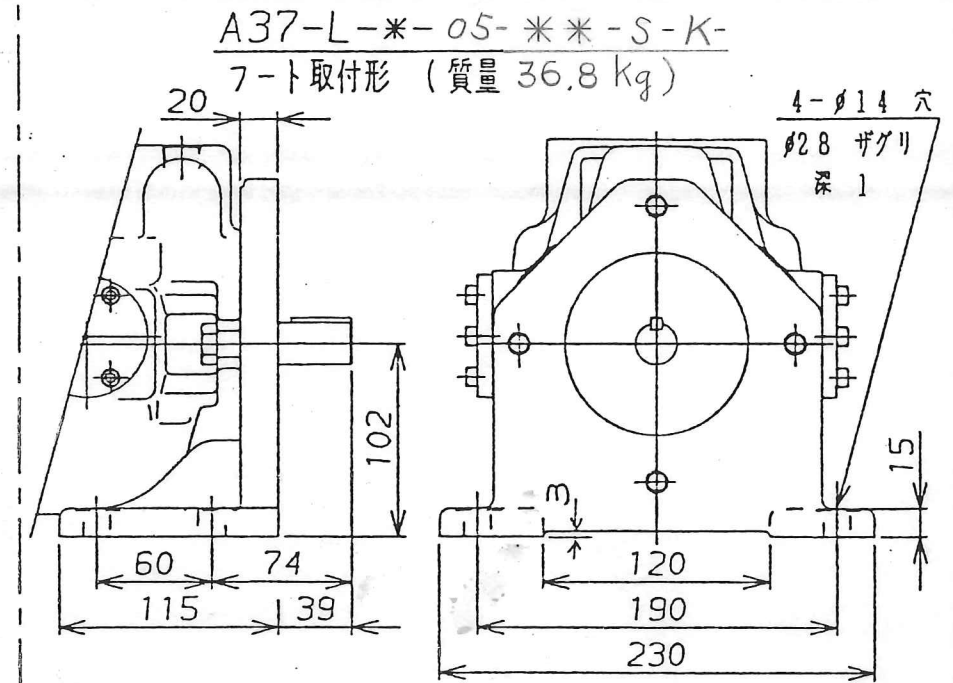
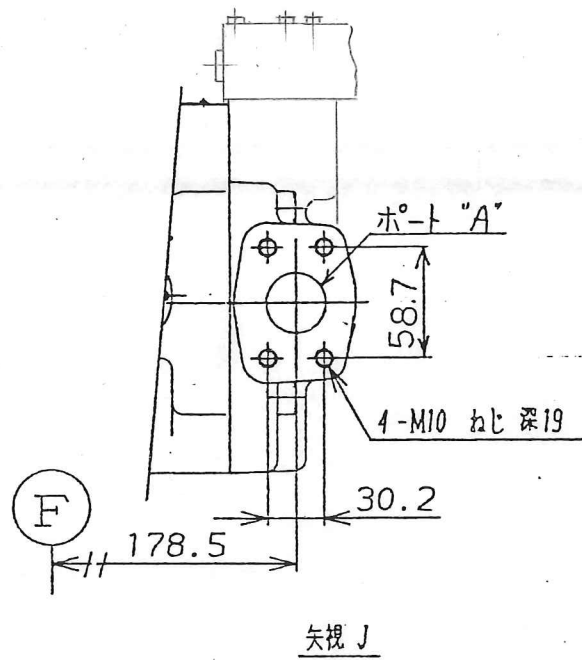


管フランジキット

1. 管フランジ取付け面は SAE J 518 4 ボルト スプリットフランジに準拠します。
2. ポンプには管フランジキットが付属されておりませんので、ご使用の際には下記によりご注文ください。

対応するポート	呼び口径	ねじ込み形管フランジ	溶接形管フランジ
吸込みポート	1 1/4	F5-10-A-10	F5-10-B-10
吐出しポート	1 1/4	F5-10-A-10	F5-10-B-10



A37-F-\*-05-\*\*-S-K-  
フランジ取付形 (質量 32.5 kg)

回転方向とポートの使用区分

	回転方向 (軸端から見て)	時計方向 (R)	反時計方向 (L)
ポート名	吸込みポート S	"A" (φ32)	"B" (φ32)
ポート名	吐出しポート P	"B" (φ32)	"A" (φ32)

SYM REVISIONS DATE SIGN	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	90-9-12	高橋	
	承認 APPROVED	検図 CHECKED	形式 MODEL NO.
	岩野	河原	A37-*-*-05-**-S-K-32
	三角法	THIRD ANGLE PROJECTION	名称 NAME
	FILE NO.		A37可変容量形ピストンポンプ
	1316F		図番 DWG NO.
			PA312778-4-0 (1/2)

定格			
理論押しおけ容積	36.9	cm <sup>3</sup> /rev.	
最高圧力	21	MPa	
定格圧力	16	MPa	
回転速度範囲	600~1800	r/min	

使用油 石油系作動油  
推奨粘度グレード ISO VG 32 または 46

粘度範囲 20~400 mm<sup>2</sup>/sec

油温範囲 0~60℃  
ただし、上記 粘度範囲にご注意ください。

吐出流量調整範囲 (QH>QL) 圧力調整範囲 (PH>PL)

QL : 4.1~20.1 cm<sup>3</sup>/rev  
QH : 4.1~36.9 cm<sup>3</sup>/rev  
PL } 2.5~21 MPa  
PH }

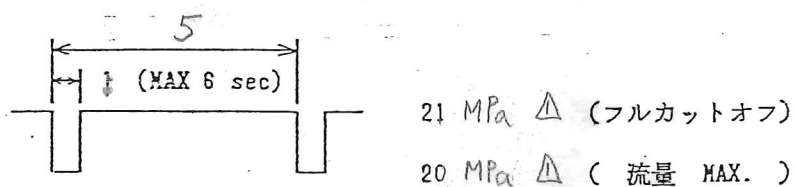
使用上の注意

1. ポンプは注油口の位置が上になるように据付けてください。軸接続の際はフレキシブルカップリングを使用し、軸には曲げ荷重およびスラスト荷重がかからないようにしてください。(直接歯車やベルトで駆動しないでください。) なお、駆動軸とのズレが TIR 0.1mm、角度誤差 0.2° を越えないようにしてください。
2. 吸込み圧力はポンプ入口にて -16.9 ~ +50 kPa にしてください。なお、吸込み側の配管は適合する管フランジの口径そのものを使用し、吸込みポートの高さは油面から 1m 以内にしてください。
3. ポンプを油面より上部に設置する場合は、吸込みラインの空気だまりを防止するため、吸込み配管およびサクシジョンラインフィルタはポンプのポートより高くしないでください。
4. 鋼管配管の場合、配管によりポンプに無理な力がかからないように注意してください。
5. ドレン配管は下記を目安にして、他の戻りラインと合流せずに単独で行ない、端末を必ず油中に入れてください。

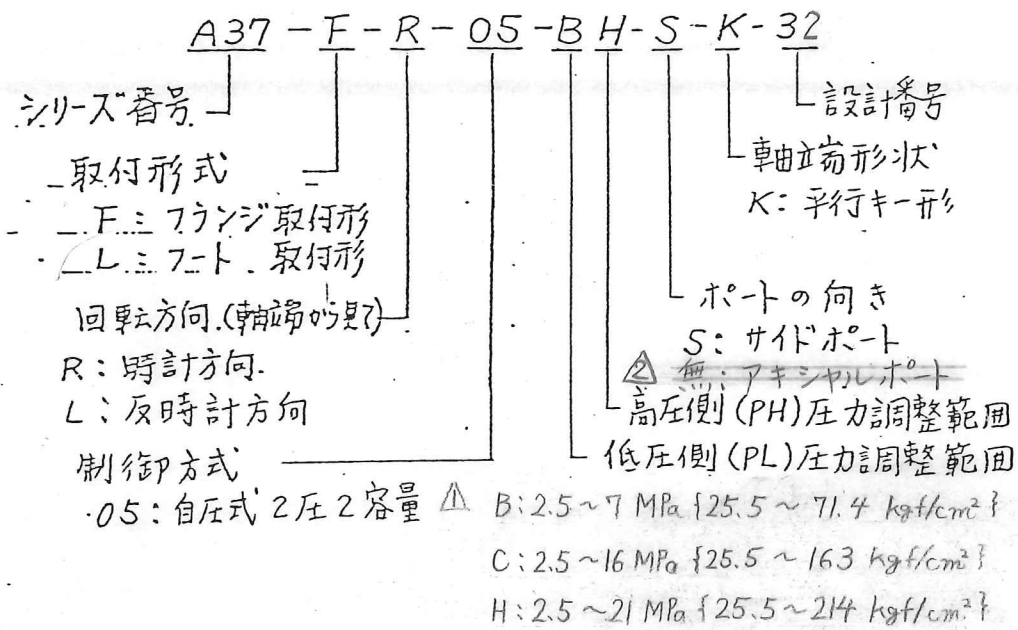
配管継手サイズ R 1/2 (内径 12 以上)  
配管内径 12以上  
配管長さ 1m以下

上記条件を満足しない場合でもハウジング内圧力が定常状態圧力 0.1 MPa 以下、かつサージ圧力 0.5 MPa 以下になるようにしてください。

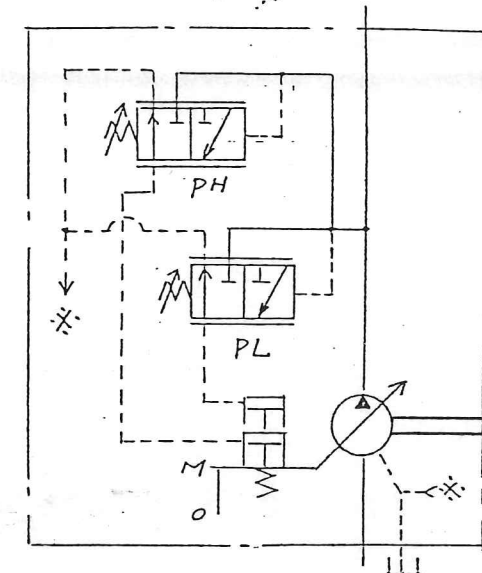
6. 作動油の汚染管理には十分注意をはらい、汚染度は NAS10 級以内にしてください。なお、吸込みラインには 100ミクロン (150 メッシュ) のフィルタを、吐出しラインまたは戻りラインには 10ミクロン以下のフィルタをご使用ください。
7. ポンプ初期運転前には必ず注油口から油圧油をハウジング内に充填してください。なお、運転開始時には吐出しラインを無負荷にしてポンプを始動し、正常に油を吸込むことを確認してください。
8. 初期あるいは長時間運転休止後に運転する場合には、油を吸込みにくいことがありますので、あらかじめ吐出し側に空気抜き弁 (モデル番号: ST1004-5-10) を設けておくか、または吐出し側の接続をやや緩めて空気抜きを行なってください。
9. ポンプ内部および管路内に空気が混入していると振動発生の原因になりますので、空気抜きは完全に行なってください。
10. 最高圧力はフルカットオフ圧力を示します。定格圧力を越えてご使用の場合は使用条件に制限があります。下図のような条件でご使用の際は最大吐出し運転時間が運転サイクルの 1/5 以内、かつ 6 秒以内になるようにしてください。なお、この条件は使用圧力、吐出し量 (斜板傾き角) 等により異なりますので詳しくは別途お問合せください。



モデル番号の構成



油圧図記号



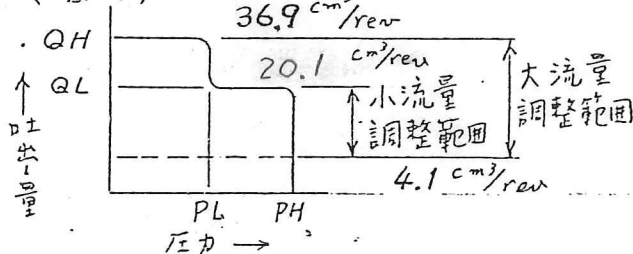
吐出量の設定方法

出荷時吐出量 QH, QL は最大に設定してあります。(図-1 参照)

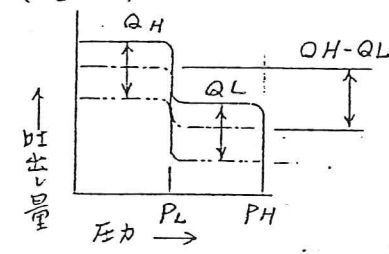
所要吐出量の設定は下記手順で行なって下さい。

1. 小容量調整ねじを回し、QL を所要の値に設定します。なお、このとき QH も QL との流量差 (QH-QL) を一定に保って変化します。(図-2 参照)  
注) QL は圧力が 2.5 MPa 以上でなければ調整できません。
2. 大容量調整ねじを回し QH を所要の値に設定します。なお、このとき QL は変化せず、上記 1 項で設定した値が保たれます。(図-3 参照)  
なお、吐出量調整ねじ 1 回転当りの吐出量の変化量は下記の通りです。  
大容量調整ねじ --- 2.85 cm<sup>3</sup>/rev, 小容量調整ねじ --- 3.80 cm<sup>3</sup>/rev

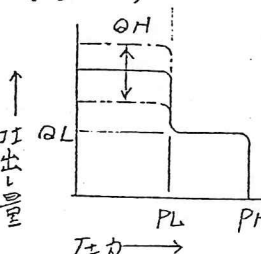
(図-1)



(図-2)



(図-3)



小容量が 4.1~20.1 cm<sup>3</sup>/rev の範囲を越えてご使用になられる場合は別途ご相談ください。

田野 8/4	日付 DATE	製図 DRAWN	YUKEN KOGYO CO., LTD.
	承認 APPROVED	検図 CHECKED	
13-07/26	REVISED DATE	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION	名称 NAME
AX1 P13-07/26	SYM	FILE NO. 1316F	図番 DWG NO. PA.31.2778-4-2 (2/2)